

## オープンな情報発信で未来をアップデート

世界に誇る松山へ。松山の魅力をどんどん発信していきます。

議員は普段何をしているかわからない。松山市のアリーナや松山駅、市民会館はどうなっているのか。このようなご意見をいただきます。政治に興味関心、そして信頼いただくために、私は日々の行動や判断のプロセスをオープンに発信し続けました。

### 01. 講演活動



### 専門性を活かした伝えるチカラ

地方創生や松山市政を身近に感じていただくために、様々な場所で講演活動を続けてまいりました。高校や中学校、経済団体や女性の交流会など。起業、経営者、そして議員を経験している私だからこそ、生の声で皆さまにお話できることを、伝えて参りました。



## 02. 松山チェンジ！対談ライブ

### 松山市を前に進める。様々な知見や情報をライブ配信でお届け

多様なゲストをお招きして、松山市の未来を熱く語り合う対談ライブを定期開催しています。オンライン・オフラインを融合させ、立場を超えて誰もが自由に参加し、アイデアを出し合える**新しい対話の場**をプロデュースしています。

右：2026年03月12日の対談ライブでは、株式会社エポラ会長の守谷みどりさんをお招きしました。

対談LIVE

女性がいきいきと活躍できる社会とは？  
松山の未来と、地域の可能性を考える

**3/12 木**  
**21:00 Start!**

松山商工会議所 初の女性副会頭  
地方発イノベーションの仕掛け人

SPECIAL GUEST

株式会社エポラ 会長  
**守谷みどり** × 松山市議会議員  
**田中 エリナ**

## 03. SNSの発信

### 顔の見える政治をお届け

政治の透明化とコミュニケーションを特に大切にしています。また、日々の活動や市民との交流から議会でのリアルな質問まで、YouTube動画や各種SNSからご覧いただけます。



# 若者の「やりたい！」を全力で後押し

誰もが夢を語れる、繋がれるまちづくりを

## 04. つながりフェスタ

支える人をひとりにしない。当事者の勇気を形に。

ヤングケアラーや兄妹児問題という、まだ十分に知られていない課題に光を当てたい。そんな18歳の高校生・中山穂乃果さんの思いから始まった「つながりフェスタ」。私も実行委員として関わらせていただきました。これからも、若者が挑戦できる、そして誰もが生きやすい松山を目指して、皆さんと繋がっていきます。



## 05. 英語イベント

「英語で環境問題を考えるイベントを開催したい」、そんな大学生からの相談を受け、イベント開催まで全力でサポート！国際交流の場を創出しました。若者の“やりたいこと”が叶う松山へ。これからも、アクションを続けます。



## 06. 国連を支える世界こども未来会議

子どもが主体のイベントを松山に誘致。市内企業協力のもと、2年連続開催を成功させました。



# 活動報告：専門活動編

## 広い視座と行動力で松山の可能性を最大化

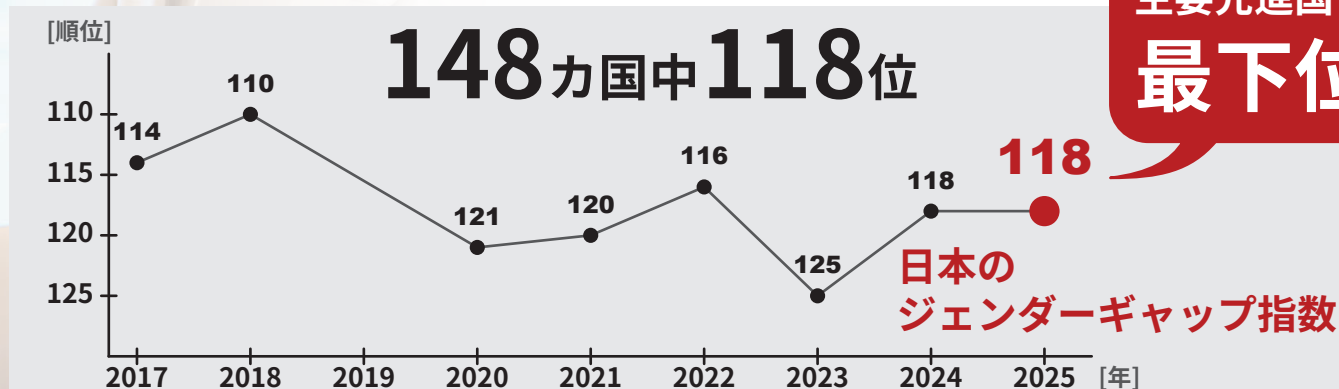
**政治×経営×女性。** 多角的なキャリアを活かします。

一人の議員としてだけでなく、経営やスポーツ、女性活躍の専門家として、多角的な視点から松山の未来をデザインしています。「政治×経営×女性」、この多角的なキャリアこそが私の強みです。既存の枠にとらわれない新しいアプローチで松山をもっと強く、もっとしなやかな街へ。

### 01. グローカルウーマン

#### グローバルウーマンとしての挑戦

女性の活躍を推進する「グローバルウーマン」の活動を通じ、ライフステージを左右されず、誰もが自分らしく輝ける社会づくりに尽力しています。「地方（ローカル）」の課題を「地球規模（グローバル）」の視点で捉え直し、具体的なアクションへと繋げています。



出典：世界経済フォーラム「Global Gender Gap Report 2025」

## 02. B.LEAGUE (Bリーグ) 理事

### スポーツで地域を活性化！最高峰の舞台、Bリーグ理事に。

2025年10月まで、プロバスケットリーグ“B.LEAGUE (Bリーグ)”の理事を2年間務めました。成長の著しいスポーツ業界の最前線で学んだ「スポーツ×地域活性」の視点を、松山の地域振興やスポーツのまちづくりアリーナ構想へ。全国の知見を、地元の活性化にダイレクトに注ぎ込んでいます。



## 03. 松前町マーケティングフェロー就任

### 勉強のために、即行動。自ら現場に飛び込み、行政を学ぶ。

行政を深く理解したい。職員の皆さんの思いを理解したい。そんな思いから、お隣の松前町にて無報酬のマーケティングフェローに就任しました。専門分野である「ふるさと納税」の知見を活かし、寄付額向上に向けた支援に取り組んでいます。現場での実践を通じて、職員の皆さんと共に考え、学び、改善を重ねる日々。風通しの良い環境の中で、行政のリアルに触れながら経験を積んでいます。この経験を、松山のさらなる発展へと確実につなげてまいります。



## 04. 中心街活性化

松山市内の商店街が集まり、意見交換、販売促進の工夫や新たなチャレンジに取り組む「松山市商店街連合」。私も参加し、商店街同士の連携をさらに強化し、にぎわい創出、そして商店街の再生に取り組んでいます。



## 05. スポーツ団体の顧問就任

松山合気道協会や愛媛県ダンススポーツ連盟顧問として、様々なスポーツ振興に力を入れています。若者から高齢者まで、健康寿命延伸につながる「スポーツ×まちづくり」に邁進しています。



## 06. 国内外を視察

公共施設や交通施策、デジタル技術など、積極的に国内外へ勉強へ。外を見ないと中のこともわからないと考え、地方自治の先進事例を学ぶ4年間となりました。



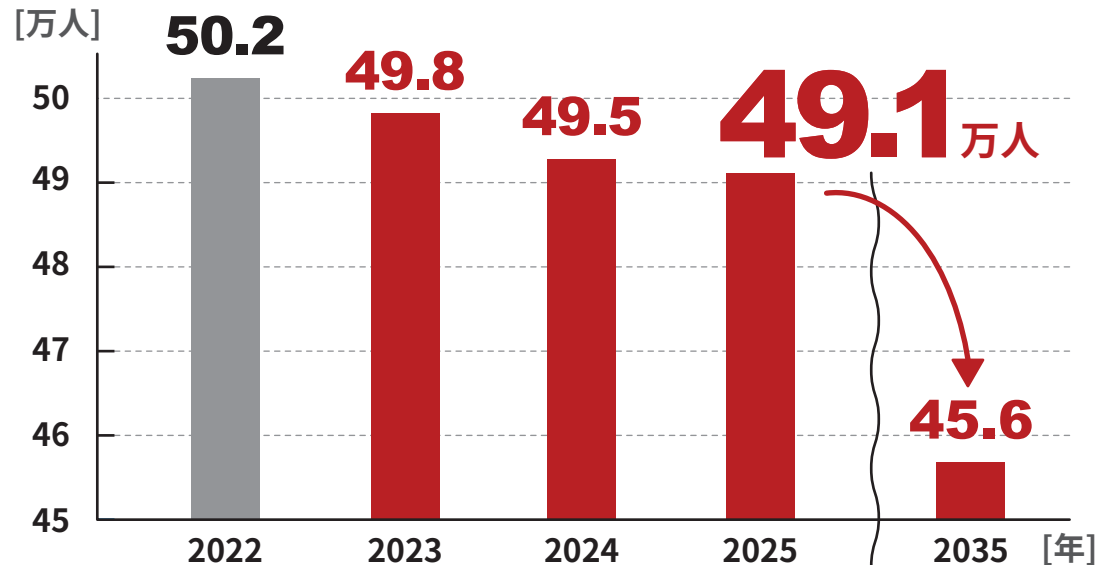
## 崖っぷちの松山市と未来への希望

松山市の現状、危機と魅力を正しく理解すること街の未来を考える。

松山市で危惧されている人口減少や高齢化、稼ぐ力の低迷といった問題。これらを正しく理解することは、これからの街の未来を創り出す上で非常に重要なことです。

### 松山市の人口

長年維持してきた50万人を下回り、このままでは10年後には3.5万人の減少予想となっています。この減少スピードは、毎年ひとつの街が消える速度とも言えます。



出典：松山市統計ポータル「推計人口」国立社会保障・人口問題研究所（2023年推計）

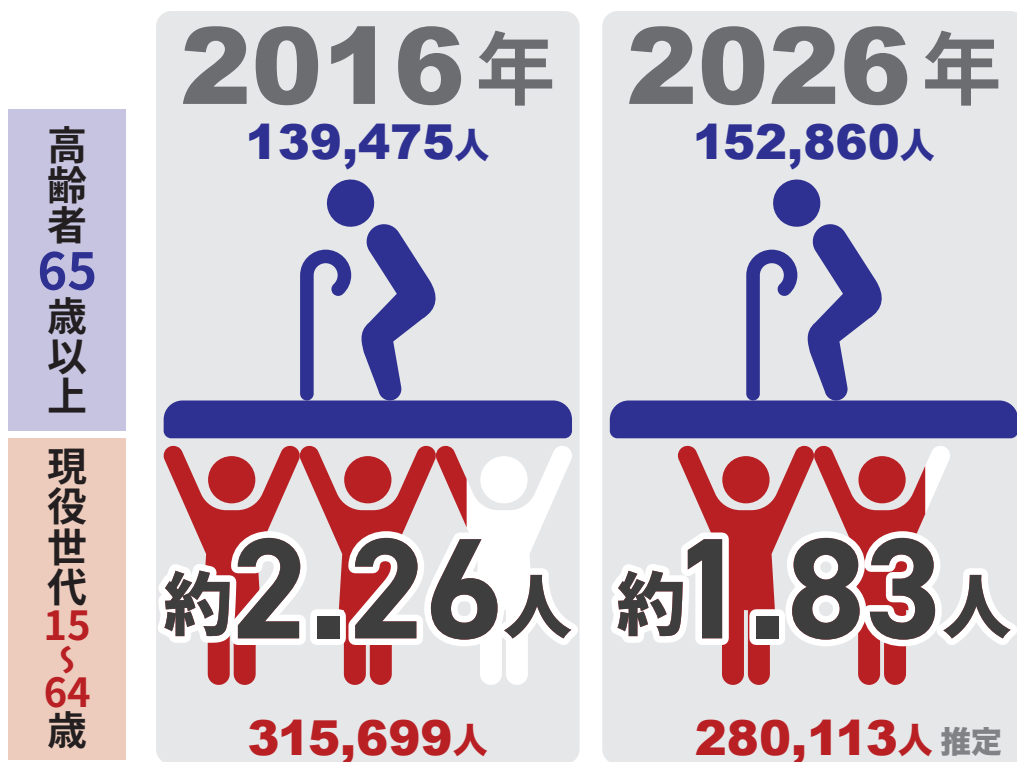
# 数字で見る松山市の今と未来

## 松山市の危機

自分たちの街を数字で見ることで、より具体的な松山の未来を思い描いてみましょう。

### 現役世代の割合

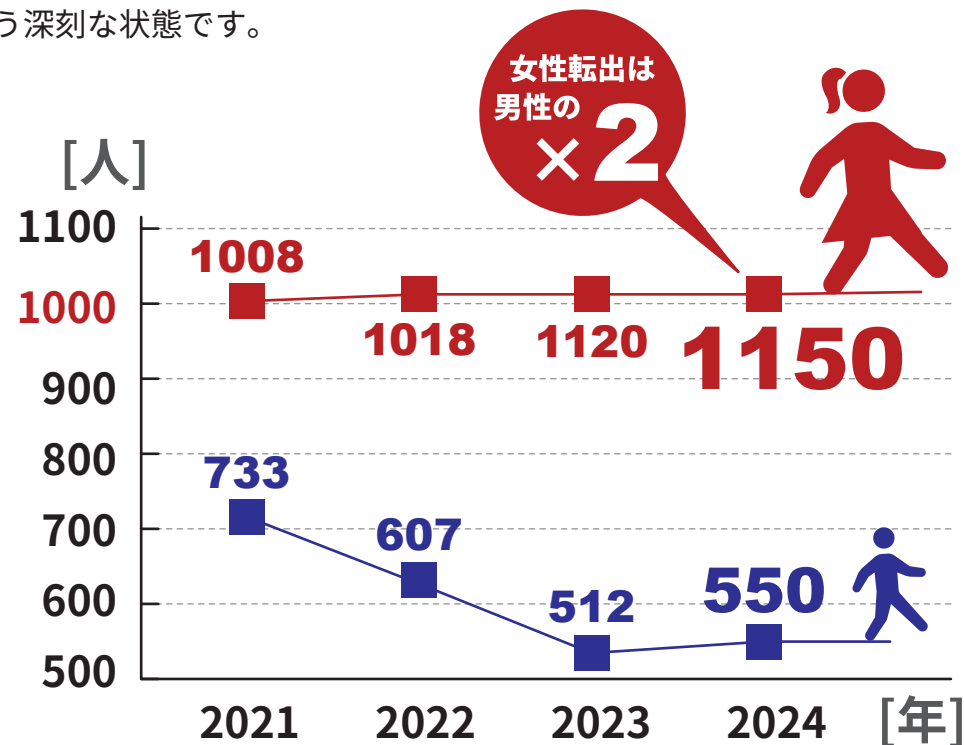
2016年当時は高齢者1人あたり**2人以上**の現役世代で支えていましたが、現在では**2人を切る**という非常に深刻な局面に入っています。



出典：総務省「国勢調査」、「住民基本台帳に基づく人口動態」

### 20代男女の転出数

20代男女の転出数を見ると、**女性の転出数は男性の2倍以上**であることがわかります。さらに、男性は30代以降に松山に戻ってくる(転入超過)傾向があるのに対し、**女性は転出後、そのまま戻ってこない**という深刻な状態です。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」、松山市「人口ビジョン」の動向

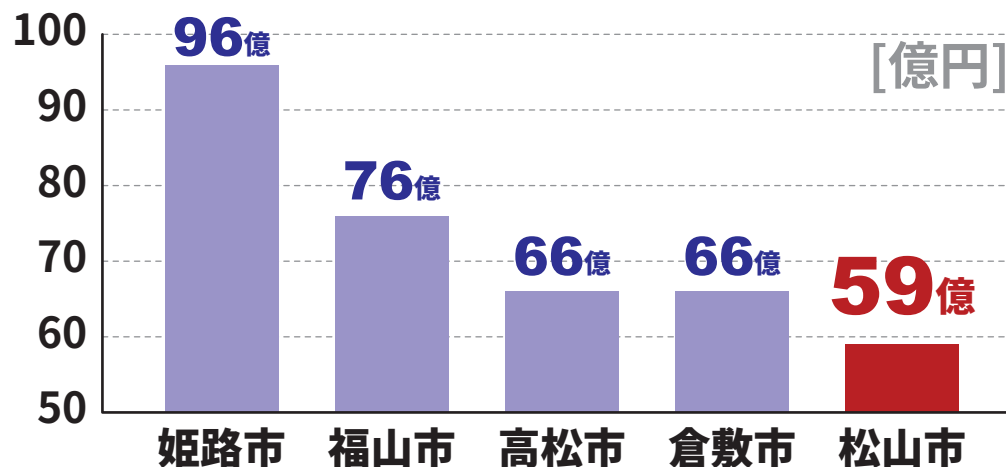
# 松山市の稼ぐ力の低迷

企業の成長不足、それに伴う収入減少という現実。

## 企業の稼ぐ力「法人市民税」の比較

法人税とは市の企業の利益に応じて収められる税金。松山は人口規模が同程度の他都市よりもこの法人税が低い。さらに、この20年間で約11%減少と、他市より急激な減少傾向にあります。これは企業の成長が十分に進んでいないことを意味しています。

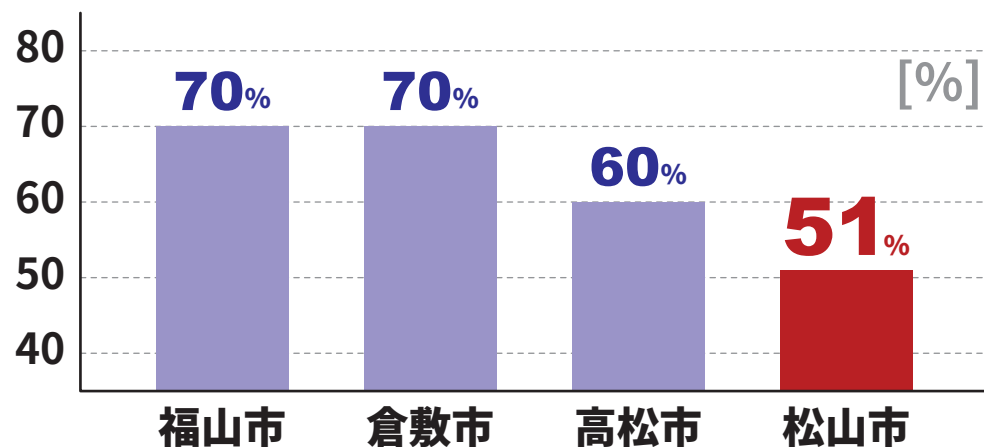
出典：総務省「令和5年度市町村決算カード」  
及び各市決算資料より作成



## 20年間で見た「個人市民税」の伸び率比較

個人市民税の変遷は、個人の所得の成長が分かる数字です。人口規模の近い都市と比べても、ここ20年間の松山市の個人市民税伸び率は、他市の中でも残念ながら最も低い水準です。収入が伸びなければ、物価が上がる中で暮らしはどんどん厳しくなっていきます。

出典：各市 (松山市、高松市、倉敷市、福山市) 公表の  
決算書・税務概要を基に作成



# 数字で見る松山市の今と未来

## 松山市の希望

県庁所在地において四国最大の都市。松山は今のままではもったいない。街、海、山、空港がコンパクトに集まり、世界に誇れる美味しい食材、日本最古の温泉、文学の街、魅力はいっぱい。

住みたい田舎  
ベストランキング

全国1位

宝島社「田舎暮らしの本」が発表する「2024年版第12回住みたい田舎ベストランキング」の人口20万人以上の市総合部門で松山市が全国1位になりました。

病院又は診療所までの  
距離の近さ

全国1位

愛媛県立中央病院や松山赤十字病院など、街の中心部に愛媛県の拠点医療機関があるので、いざという時にも心強い街です。

通勤・通学にかかる  
時間の短さ

全国2位

満員電車で揺られることもなく、街がフラットでコンパクトなので自転車で通う人も多いのが特徴です。

余暇時間の長さ

全国2位

通勤と仕事時間が短いから、家族と一緒に余暇や趣味などが楽しめる自由な時間が全国で2番目に長い。

住みやすい街、松山のポテンシャル！

ストレス  
OFF

賃貸が  
安い！

地域食材の  
手にしやすさ  
全国1位

ショッピングセンター  
への距離の近さ  
全国1位

日本最古  
道後温泉

居住費や物価などの生活コストが低くマイホームの夢も実現しやすい。人が優しくて魅力がいっぱいだからこそ、住民の約9割から、ずっと住みたい街としても選ばれ続けています(出典：「いい、暮らし。まつやま」より)。